

令和6年度SDGsチャレンジフォーラム

(概要)

令和7年1月31日(金)、1年間の探究学習の成果を発表する「SDGsチャレンジフォーラム(探究学習発表会)」を実施しました。午前中ステージ上では、高校2年生探究学習委員23人の英語によるプレゼンテーション、附属中学校2年生16人の日本語によるプレゼンテーション、午後は附属中学校1,2年生全員、高校1年生全員によるポスターセッションを実施しました。

1. 目的 SDGsの課題解決に向け、社会に貢献できるリーダーを育む
2. 日時 令和7年1月31日(金) 2～6時間目
 - (午前の部) 高校2年生探究学習委員16人の英語によるプレゼンテーション、附属中学校2年生16人の日本語によるプレゼンテーション。
 - (午後の部) 附属中学校1、2年生・高校1年生によるポスターセッション
3. 場所 本校体育館
4. 対象 高校探究学習委員会2年生(23名) 9班
高校1年生(全240名) 60班
附属中学校2年生(16名) 4班
附属中学校1年生(80名) 20班
附属中学校2年生(80名) 20班
5. 助言者 飯塚哲哉先生(ザインエレクトロニクス(株)会長、本校昭41卒)
6. 内容

今年度「SDGsチャレンジフォーラム(探究学習発表会)」を本校体育館にて開催しました。午前中、高校2年生探究学習委員の英語によるプレゼンテーション、附属中2年生の日本語によるプレゼンテーション、午後からは、高校1年生、附属中1、2年生のポスターセッションが行われました。



プレゼンの様子



飯塚先生からの助言

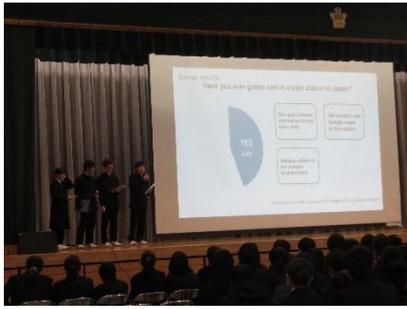


質疑応答の様子

(1) 高校2年生探究学習委員の英語によるプレゼンテーション、附属中2年生の日本語によるプレゼンテーション
高校2年生探究学習委員23人の英語によるプレゼンテーションを行いました。8月に実施した仙台フィールドワーク、10月に実施した浅草フィールドワーク等のデータを基に、調査研究内容を英語で発表しました。飯塚哲哉先生からは、探究活動をビジネスにつなげるヒントを頂きました。助言に熱心に耳を傾ける生徒の姿は、3月実施予定のオーストラリアフィールドワークでの更なる深化を期待させるものでした。

附属中2年生は、選抜された4組16人の日本語によるプレゼンテーションを行いました。わかりやすいスライドと丁寧なプレゼンは、何度も練習を重ねた成果が十分に表れており、大きくうなずく聴衆の姿が印象的でした。

質疑応答も闊達に行われました。中学生からの想定外の質問に誠実に答えようとする高校生、高校生からの質問に堂々と成果を強調する中学生の姿は、お互いが成長する良い機会であると感じました。



グラフを使っでの説明



スライドにも工夫が見られます



中学生のプレゼンの様子

(2) 高校1年生・附属中1年生によるポスターセッション

午後の部では、高校1年生・附属中1、2年生によるポスターセッションが行われました。1年間各クラス4人組（高校60班、附属中20班）で、SDGsの17の目標をいかに実現するかの取り組みを行ってきました。学校での調べ学習、インターネットを利用したアンケート調査、街頭インタビュー等を行い、独自の視点に基づいた探究成果を発表しました。

7. 生徒の感想（一部抜粋）

- ◇ 何かを創造するためには根気強い問題発見・調査・（客観的な）自己評価のサイクルの繰り返しが重要だと実感した。また、探究学習をやらなければ絶対にできなかった経験や出会えなかったもの・人々は、自分の価値観や思考法の形成に少なからず影響を与えてくれた。様々な観点からみて、有意義な探究活動となったことは間違いないと思う。
- ◇ 実際にフィールドワークを行い自分で情報を集めることでただネットや本で資料を集めて読むだけでは得られないものがたくさんあると感じた。当日は一段落ついて安心したのと、みんなの晴れ姿に感慨深くもあった。
- ◇ 自分の興味を持った社会課題に対して、自分たちで調べてその解決方法を探し出すことは大変だったがとても良い経験になった。また初めての大人数の前での英語でのプレゼンはとても緊張したが良い発表ができたと思う。
- ◇ 正解のない問い自体を考えるのは難しかったのでやりがいがありました。また、探究学習を通して明確な正解のない問いを考える面白さを知りました。ただ活動の開始が遅くなってしまったのは反省すべきだと思いました。
- ◇ 探究学習を通して、答えのないことを色々な視点から調べ、仲間と協力して考察することができ、良い経験となった。他の班の発表を聞いて、似たような探究テーマでも違った考察が出ていてとても面白いと感じた。
- ◇ 自分で調査したりグループ内でディスカッションしたり他のグループの発表を聞いたりして様々な視点から物事を考えることができるようになった。また、プレゼンする能力も向上し今後活かせる学習であった。
- ◇ 発表を聞いて、何回も試行錯誤を繰り返している班などもあり、深めていくことの大切さを実感した。今まで、自分の興味にこれほどまで具体的には考えたことがなかったため面白く、他の内容でも行ってみたいと思った。
- ◇ 他の班の発表を見たときは、学校外部の人々に協力を依頼したりしていて、自分たちの発表と比べてスケールが大きいと感じた。発表の際の書きやすい話し方や話の順序などを学ぶことができた。今後活かしたい。
- ◇ 個性的な研究をしているところもあって面白かった。発表を聞いてもらった人に質問をしてもらうと、自分たちが思いついたことのないような観点やアイデアが見つかった。
- ◇ 始めに立てた仮説が正しくなかったときは新たな仮説を立て直し、真実を追求し続けようとする班や、今回学んだことを社会に活かそうとする班など、色々な班の発表が聞けてよかった。
- ◇ テーマの設定から検証、考察まで最初から最後まで大変で難しかったけれど、発表がうまくまとまりこれからは生かせそうなものに仕上がったのでいい経験になった。どの班もとても興味深い内容で聞いて楽しかった。

8. 来場者の感想（一部抜粋）

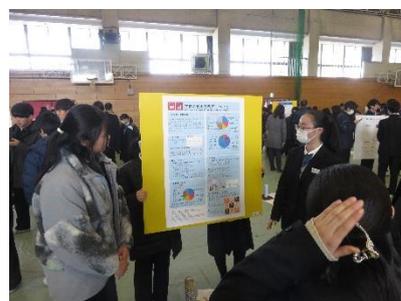
- ◇ どの発表もよく調べられていてよかった。また、それぞれ、着眼点が面白かった。
- ◇ 是非、商品化してほしいです。ネーミングセンスの素晴らしさにも感嘆しました。みなさん、堂々と発表していて、質問する人も英語で話されていて、感心しました。
- ◇ 普段英語に触れていない事もあり、もう少しゆっくり、はっきりとした発音で発表して頂けると、分かりやすかったかな、と思います。質問&回答は日本語で！
- ◇ 内容を読んでいるだけの班が見られてもっと観ている人を惹きつけるようなプレゼン方法を考える余裕も出てくると興味をもつ人も多くなると思います。
- ◇ どのチームも学校生活を送りながら大変だったと思いますが、よくまとめられていました。とことん探求する時間が厳しい中での活動という事が伝わってきました。SDGs と大テーマが決まっているからか、時間的に制限のある探求学習なのに壮大なテーマを選んで迷走している様子も見受けられ、いっその事テーマを自由にしたらもっと面白い着眼点が出て主体性もアップするかも知れないと思いました。発表者、聴者とも行事に集中していて、あの人数で壮大なワークショップが繰り広げられている感じが、さすが一高生だなと感心しました。ありがとうございました。
- ◇ 自らの関心事について探究しているだけあり、生き生きとした表情で発表している様子がたいへん印象的でした。若者らしい着眼点や考察、思わず吹き出してしまうような面白いテーマもあって、刺激をいただきました。可能ならすべてのグループの発表を聞いてみたかったです。今回は、保護者周知度が低かったようなので、次回はもっと宣伝してもよいのかなと感じました。
- ◇ 面白い企画なので、もっとみんな恥ずかしいがらず自信持って大きな声で発表してほしいな。
- ◇ 様々なテーマがあり、様々な発表の形があり、とても楽しい時間でした。生徒たちの日頃の様子がみれよかったです。
- ◇ データ分析の結果をより効果的に見せるため、色々なグラフを使っていたのはさすがです。楽しい時間をありがとうございました。



ポスターセッションの様子



先生からの助言



中学生のポスター発表も good